

# 大震災を越えてⅡ

写真：石巻海蔵庵板碑群からみた長面浦

## 北上川流域の歴史災害と復興

アジア流域文化研究所が日本国内の研究フィールドとして長年にわたり調査・研究してきた三陸沿岸・北上川流域は、東日本大震災で激甚の被害を受けた。この現実を受けとめ、2011年12月に「大震災を越えて—歴史遺産を後世に残すために—」と題して、歴史学はこの地域の再生・復興のためにどのような寄与ができるのか、被災した古文書を歴史遺産として救済し保全する取り組みを紹介し、研究の展望について議論した。

そこで2012年度は「大震災を越えてⅡ—北上川流域の歴史災害と復興—」と題して、地域の古文書から明らかにできる過去の災害と、その復興の経過について、報告2本を立て、シンポジウムを開催する。

### 日時

2012年12月1日(土) 13:30~16:30

### 会場

東北学院大学土樋キャンパス 8号館4階 842教室

### プログラム

13:30 | 趣旨説明

13:35 | 基調報告

鎌倉・南北朝時代の新旧北上川下流域—勝倉元吉郎資料の紹介—

七海雅人(東北学院大学文学部教授)

近世近代の北上川下流域における川沿い耕地と災害対応

平野哲也(栃木県立文書館学芸員)

15:30 | シンポジウム

大震災を越えて—北上川流域の歴史災害と復興—

コメンテーター 今野照夫(石巻市北上総合支所地域振興課)

パネラー 七海雅人

平野哲也

斎藤善之(東北学院大学経営学部教授)

### 主催

東北学院大学アジア流域文化研究所「新時代における日中韓周縁域社会の宗教文化構造研究プロジェクト」(文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業)

入場無料・申込不要

※駐車場がございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。